

港湾開発・計画(港湾技術者のための) Sustainable Port Development and Planning (for Port Engineer)		更新
対象国の条件：		
研修コース番号： 201984566-J002		
案件番号： 201984566		
主分野課題： 運輸交通/運輸交通行政		
副分野課題：		
使用言語： 英語		
案件概要		
本研修では、「臨海部の産業と一体となった」港湾開発及び計画に係る諸問題に対して、世界にも比類のない港湾に関する総合的な研究所の講師陣による土木工学の基礎から最先端の研究結果を紹介する。さらに、港湾計画のケーススタディーを視察や演習を通し、各自が抱える諸問題に対応したアクションプランを発表し議論する。		
目標／成果		対象組織／人材
【案件目標】 参加各研修員(各国)が抱えている諸問題に対し、自ら考えた対処方法が作成される。(作成したアクションプランについて多くの民間企業等と意見交換をすることにより、日本企業の進出及び参画への環境整備を行う。)		【対象組織】 港湾担当省庁の開発・計画部門及び港湾管理機関
【成果】 1. 自国の港湾整備に関する課題について予備的に整理される。 2. 港湾整備に必要な基礎技術的知識を習得し説明できる。 3. 臨海部の産業立地と一体となった港湾の開発・計画手法を習得し、計画案が予備的に策定される。 4. 世界の港湾を取り巻く情勢について把握し、説明出来る。 5. 日本企業の港湾建設技術における国際的優位性を理解する。 6. 港湾に関する地球的規模の問題と持続可能な取組についてアクションプラン(案を含む)が策定される。		【対象人材】 <職位>港湾に関する地球的規模の問題解決(維持管理・環境・防災等)と持続可能な取組みの課題を職務内容とする若手職員 <職務経験>港湾分野において、実務に3年以上携わっている港湾技術者 <その他>大学の工学部学部卒業者または同等の学力を有しているもの。英語能力が十分であること。
内 容		2019/6/11～2019/8/10
1. 事前活動：インセプションレポート作成 2. 基礎技術 (1)海洋・水工技術に関する講義・実験(実習)、(2)地盤・構造技術に関する講師・実験(実習)、(3)施行・制御技術に関する講義・実験(実習) 3. 開発・計画 (1)港湾政策の講義、(2)港湾計画、設計、基準の講義、演習、策定、(3)港湾の情報化の講義、事例視察、(4)臨海部の産業立地と一体となった港湾開発手法及び管理運営手法の講義・事例視察 4. 世界の港湾情勢 (1)グローバリゼーション、(2)港湾に関わる国際条約 5. 維持管理・環境・防災等 (1)港湾施設の維持管理・有効活用の講義、実習、事例視察、(2)環境保全、環境影響評価の講義、実習、事例視察、(3)港湾施設の災害への取組の講義、ハザードマップ作成 6. アクションプランの作成・発表		本邦研修期間
		担当課題部
		社会基盤・平和構築部
		所管国内機関
		JICA横浜
		関係省庁
		国土交通省(運輸)
		実施年度
		2019～2021
主要協力機関	調整中	
特記事項及びホームページ	国土交通省港湾局 http://www.mlit.go.jp/kowan/ 一般財団法人国際臨海開発研究センター(OCDI)※昨年度実施機関 http://www.ocdi.or.jp/	